
終焉の地

春

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終焉の地

【Nコード】

N1327A

【作者名】

春

【あらすじ】

最終兵器彼女のアツシのストーリー。

（なんで！なんでこんな事に！？）

…一人の青年は心の中で叫んでいた。

いや、

口で叫んでいたら殺られていただろう。だから心の中で叫ばざるえなかった。ここはそういう場所なのだから…

殺るか殺られるか…

その刹那を今まさに青年は生きていた。その姿は、恐怖で包まれていた。怖い

恐ろしい…

守る…？

今こんな自分に何を守れというのだ！？自分を守るのに精一杯で恐怖で体も動かない！

「アツシ…！大丈夫か！？」（ああ、隊長…）

意識をもろうとしながら隊長の後についていく歩くと視界の中に殺られた仲間達が…

まだ生きている者もいたが思わず目をつぶるアツシ。
そのとき

ゴゴゴ！

「な…なんだ…？」

「う…うおおっ…」

アツシの目には光の柱？が映っていた。

「…『ちせ』だ…」

「え？」

「やりやがった！やりやがった！ちくしょう！！死神め！」

「あいつはああやってオレのふるさとも消しちまったんだ！…元か

ら…なんにもなかったみてえに…ちくしょう！……」

「…あれが…『ちせ』の火…」

アツシはなぜ涙を流したか分からない、しかし、なぜか悲しかった。そう、悲しかったんだ…「アツシ！行くぞ！」

「え？あ！はい！」

「まだ敵は残っている！見つけしだい掃討しろ！」

「はい！」

歩いているとうめき声が…

（！ 敵！）

敵は負傷していた。

ゆっくりと銃を構える。敵はまだ10代の子供だろうか？いや

今はそんなこと考えるべきではない。
そして…

タン！

撃った。

撃ったと同時に涙が…

（ああ、オレは今、人を…ごめんなさい…）
なぜ謝ったか分からないが、謝りたかった。

（…？）

そのとき光がアツシを…街を飲み込んだ。

（あれ？なんだ？…アケミ？…ああ、そうか、オレは）

その光はやさしく、あたたく飲み込んだ。
人の命が終わる地を。

- E N D -

（後書き）

< font size = 2 > 今回は暴走もせず書けました。これは
いわゆるバッドエンドです。ハッピーエンドはありません。

本当にこんなこと起きているのか？なんて言われてもわかりません。
想像ですの…

これをどう受け取るかあたしだけです。ではでは、読んでくださ
った方々、ありがとうございます。o(^-^o < / font >

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1327a/>

終焉の地

2010年10月14日13時48分発行